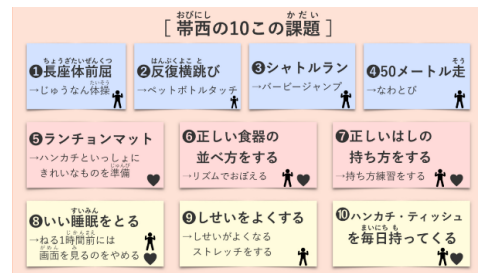


## 第2回わくわく健康集会

先週12日(木)は、わくわく健康集会が行われました。7月のわくわく健康集会で、今年のテーマは、「心と体の健康～自分の健康は自らつくる～」と保健委員会から発表がありました。昨年度は、年に一回の集会でしたが、今年度は継続して健康に対する意識を保って欲しいという思いから、この時期にもう一度、自分のめあてを見つめ直す機会を設けました。保健委員会のパペットチーム「心と体が健康でなければ、元気な学校生活を送ることはできません。心と体を大切にすること、命を大切にする、ということです。」という初めの挨拶をしてくださいました。

7月に立てためあてが達成できた子供には、新たなめあてを立ててもらい、めあてが達成できなかった子供には、もう一度同じめあてを立てたり修正したりしてチャレンジカードに書いて、チャレンジしてもらいます。集会の最後にめあての交流をいたしました。2年生の子供は「箸の持ち方を一日一回は練習する。」、6年生の子供は「体が柔らかくないので、レッドの心で、5分間柔軟体操をする。」とめあてを発表してくれました。養護の細縦先生は、「今まで自分の取組を振り返り、再びチャレンジすることは、自分の健康を自らつくることにつながります。ぜひ、今回チャレンジしたことを習慣化して欲しいです。」と述べています。お家でも健康集会でお子さんが立てためあてを話題に上げていただくとありがたいです。



## 「家庭教育セミナー」

昨日17日(火)は、PTAの教養委員会の方が熊本市教育委員会と連携され、今一番保護者が知りたい「必要なネットリテラシー教育」について、モバイル・ネットワーク研究所代表の松川由美さんの講演がありました。

ネットを使うと、面と向かっては言えない言葉が、書き込みやすくなる。そこからは、「我が子がいじめられているのでは」の視点だけでなく「我が子がいじめているのでは」の意識も持ってほしいと言われました。

また、昨今のネットの問題の背景を4つに分類され、①「ついうっかり」のカメラ機能での画像撮影 ②「わざと」の嫌がらせ ③「コミュニケーション不足」による、死ねなどの言葉の使用 ④「非リア充」のネットでの悩み相談などの説明をされました。

子供が加害者になるネットにおいて、「子供を守るのは大人 我が子を守るのは保護者の責任」とまとめられました。さらに、「知らない」「分からない」では子供を守れない、保護者が子供のネット環境をコントロールする大切さも訴えられました。

保護者の声を聞くと「うちも制限をしているが『なぜしているか』の話し合いがまだだったこれから話し合っていきたい。」など、切実感を持ち聞いていただいていたことが分かりました。

